

「多言語指さしボード」が完成しました！

～令和3年度災害時外国人支援事業について～

主催	公益財団法人 加古川市国際交流協会
日時	－
場所	－
内容	<p>この度、公益財団法人加古川市国際交流協会では、昨年の災害時多言語表示シートに引き続き、加古川市と協力し、災害時に言葉の壁等から災害時要支援者となりやすい外国人とコミュニケーションするためのツールとして「多言語指さしボード」を作成し、市内小・中学校避難所 40 か所に配置することとしています。</p> <p><令和3年度災害時外国人支援事業> 市内在住の外国人は年々増加しており、現在約 50 か国、3,000 人以上の方が居住しています。災害が多発している日本において、異なる生活習慣や文化を持つ外国人に平時から災害や防災の知識を取得してもらうことは災害への備えとして重要になっています。加古川市では公益財団法人加古川市国際交流協会に委託し、災害時に言葉の壁等から災害時要支援者となりやすい外国人のために、さまざまな事業を展開しています。</p> <p>～その他の事業～ ①災害時外国人支援ボランティア研修会 令和3年12月11日実施済 ②加古川市総合防災マップの多言語化(6言語) 令和4年1月頃 ③外国人のための「まなぶ・そなえる」防災セミナー 令和4年2月6日(防災センターで開催)</p> <p>(初めて)</p>
対象(参加者)	－
定員	－
参加費	－
申込先・方法	－
目的・背景 その他	言葉の壁等から災害時要支援者となりやすい外国人の防災意識の啓発を行うとともに災害時に外国人を支援するボランティアを育成します。
市ホームページ	掲載しない
広報かこがわ	外国人のための「まなぶ・そなえる」防災セミナー 1月号掲載予定